

河の流れを変えた人たちの
心の底を知る



吉田松陰画像。(京都大学附属図書館所蔵)

大河津分水通水100周年！燕大学でしっかり学ぼう

成人講座 燕大学 全3回講座

「大河津分水と CHOZENISM」

対象 燕市在住・在勤・在学の高校生以上の人
※第3回目講座は市外の方も参加できます。

参加費 無料 (参加には申し込みが必要です。)

- 申込方法
7/5(火)より、燕市中央公民館2階事務室、または電話連絡で申し込み。
※定員になりましたら締め切ります。
※出席可能の回だけでも参加できます。
- 申込・問合せ
燕市中央公民館(燕市水道町1丁目3番28号)
電話: 0256-63-7001
- 受講される方へおねがい
・来場の際にはマスク着用をお願いします。
・部屋に入室時の検温、手指の消毒にご協力ください。

第一回

7/30^土 10:00~11:30 **定員 30人**
燕市分水公民館 視聴覚室
「分水建設の功労者 田澤実入と
桜を植えた 山宮半四郎」
講師: 信濃川大河津資料館コーディネーター
樋口 勲さん

第二回

8/27^土 13:30~15:00 **定員 45人**
燕市中央公民館 中ホール
「長善館の門下生たちは
大河津分水に いかに関わったのか」
講師: 筑波大学助教 田中友香理さん

第三回

10/15^土 10:00~11:30 **定員 300人**
燕市文化会館 大ホール
「松下村塾・長善館 松陰・文臺
SHOINISMとCHOZENISMを考える」
講師: 菽博物館総括学芸員 道迫真吾さん
長善館史料館館長 横山文一さん



燕市大河津分水通水100周年
CHOZENプロジェクト



おおこうづぶんすい
1. 大河津分水



たざわみのり
2. 田澤実入



やまみやはんしろう
3. 山宮半四郎



ちょうぜんかんもんかせい
4. 長善館門下生



すずきぶんたい
5. 鈴木文臺



しょうかそんじゅく
6. 松下村塾



よしだしょういん
7. 吉田松陰

『吉田松陰画像』(京都大学附属図書館所蔵)

1922年8月25日に大河津分水は通水しました。以来、流域に暮らす私たちには安全な暮らしはもとより、農業、交通網、産業の発展がもたらされました。この建設には政府に働きかけた多くの先人たちが、工事に従事した多くの人びとの努力なくしてはありえません。100年を迎えるにあたり改めて先人たちの功績を顕彰する機会を設けました。

1. 大河津分水

大河津分水の建設には200年に渡り、多くの人々が尽力した。先人達の偉業を讃えるため植えられた6000本もの桜は、毎年、分水の恩恵に感謝するかのようには花を咲かせている。

2. 田澤実入

父与一郎の代から治水に尽力した。県議、県職員、内務省とその人生を治水に捧げた。墓石は大河津分水を向いて建てられた。

3. 山宮半四郎

地藏堂生まれで市の名誉市民。田澤実入を分水路建設の大恩人と尊敬していた。桜の植樹やさくら公園の建設を推進した。

4. 長善館門下生

高橋竹之介、大竹貫一、鷲尾政直、萩野左門、小柳卯三郎。この5人はいずれも信濃川流域の庄屋の子弟で、大河津分水の建設に大きな役割を果たした。長善館の教えが彼らを突き動かした。

5. 鈴木文臺

初代長善館館主。向学心に富み、学問好きで、良寛にその才能を絶賛された。良いところを伸ばすという趣旨で長善館と名付け、「困った人を助けるのだ」と教えた。

6. 松下村塾

山口県萩市の松陰神社境内に現存している。吉田松陰先生が指導した期間はそれほど長くないが、幕末から明治初期に日本を主導した人材を輩出した。

7. 吉田松陰

安政3(1856)年3月から同5(1858)年12月までの2年10ヶ月、松下村塾を主宰し、兵学、儒学、国学、歴史、地学、農学、経済など幅広い知識を門人に伝授した。

大河津分水通水100周年！燕大学でしっかり学ぼう

